

普及指導活動情勢報告（令和3年10月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

れいほく八菜を作りませんか？

～新規栽培者説明会開催～



個別面談で品目相談

JA 園芸部と普及所等関係機関が組織する嶺北地域園芸戦略推進会議は10月6日、新規栽培希望者説明会を土佐町で開催しました。この説明会は高齢化で生産力が低下する園芸品目の新たな生産者を確保するために続けてきた取組で、今年は2名が参加しました。

土佐甘とう部会長のハウス見学と、普及所から各品目の営農事例を紹介した後、栽培を希望する品目について、参加者とJA・普及所の担当者が個別に面談しました。参加者は栽培の具体的なスケジュールや定植前の準備の内容を熱心に質問するなど、栽培開始に積極的な姿勢が見られました。

今後も普及所は、関係機関と連携して新規栽培者の確保・育成に取り組んでいきます。

嶺北で就農せんかえ！！

～地域ぐるみで産地提案書PR動画撮影～



関係者が勢揃いして
メッセージ発信

管内町村とJA、JA 園芸部は9月30日、嶺北地域に新規就農者を呼び込む‘産地提案書PR動画’を作成するため、4町村から9名の生産者と関係者が動画撮影に参加しました。

動画は、産地の主要な作物や農作業の様子などの生産現場、地域の環境や特色等の状況についてWeb上で広く配信することで、就農希望者の確保に繋げることを目的に県内各地域で作成されるもので、嶺北地域からは主要品目である米ナスと新規就農者が定着しているミニトマト、甘長トウガラシを紹介しました。

普及所は、生産者や関係機関と協議して台本を調製するなど、新規就農者呼び込みの広報素材づくりを支援しました。

今後も普及所は、新規就農者の確保・育成に嶺北地域の関係機関が連携して活動できるよう取り組んでいきます。

地域農業支援の輪を消費者に広げよう

～‘れいほく八菜’を銘打った消費者イベント開催！！～



れいほく八菜で繋がる
消費者と産地
(抽選当選者とJA 営農指導員)

JA 園芸部は10月1日、地域で生産する園芸品目を消費者に広報しようと、卓球スクール主催の大会に協賛参加しました。催しは普及所が園芸部に企画を提案し、れいほく八菜を銘打った催しで開催されました。大会では園芸部から参加者62名全員に米ナス、抽選会景品としてれいほく八菜詰め合わせが提供されました。昼食時にはJA 営農指導員よりれいほく八菜の品目や環境に配慮した生産活動などを説明をしました。参加者からは「米ナスはスーパーで見かけることが少ない。帰って食べるのが楽しみ」といった声も聞かれ、コロナ禍で活動が制限される中、貴重な消費宣伝の機会となりました。

今後も普及所は、嶺北ブランドの発展につながる部会活動を支援していきます。

ユズ振興に向けた輸出を！

～第１回ユズ輸出検討会を開催～



輸出検討会

生産者代表、JA、役場、普及所、県輸出関係各課等 16 人が参加し、10 月 11 日、ユズ輸出検討会が開催されました。

会では、本年度の輸出に向けた取組について、今後の嶺北産ユズの輸出の見通しや県内外のユズ産地の動向、県の輸出支援策等について協議と情報交換を行い、課題を共有しました。

嶺北地域で生産されるユズの輸出実績は、直近では新型コロナウイルス感染拡大等で減少しており、参加者からは「嶺北産ユズの付加価値をつけるにはどうすれば良いか検討が必要」など、活発な意見が出されました。

今後も普及所は、関係機関と連携して、輸出向けユズ栽培農家への指導や、輸出に向けた各種調整に取り組んでいきます。